



Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチのスマート ソフトウェア ライセンシング

この章では、スマートソフトウェアライセンスの機能の概要を示し、Cisco Nexus 7000 シリーズスイッチの登録および認証を完了するために必要なツールとプロセスについて説明します。

- [スマートアカウントの要求, on page 1](#)
- [スマートアカウントへのユーザの追加 \(3 ページ\)](#)
- [GUI を介したスマート ライセンスへの従来のライセンスの変換 \(3 ページ\)](#)
- [CLI を介したスマート ライセンスへの従来のライセンスの変換 \(4 ページ\)](#)
- [スマートソフトウェアライセンスの設定 \(5 ページ\)](#)
- [スマートソフトウェアライセンス用の Smart Call Home の設定 \(8 ページ\)](#)
- [スマートソフトウェアライセンスの確認 \(9 ページ\)](#)
- [スマートソフトウェアライセンスの設定の例 \(9 ページ\)](#)
- [スマートソフトウェアライセンスの確認の例 \(10 ページ\)](#)
- [スマートソフトウェアライセンスの使用例 \(14 ページ\)](#)
- [スマートソフトウェアライセンスのその他の参考資料 \(16 ページ\)](#)
- [スマートソフトウェアライセンスの機能の履歴 \(17 ページ\)](#)

スマートアカウントの要求

スマートアカウントの要求は、1 回限りのプロセスです。それ以降のユーザ管理は、ツールを使用して提供される機能です。

Before you begin

Cisco Employee Connection (CEC) ID があることを確認します。

ステップ 1 <http://software.cisco.com> に移動して、アカウントにログインします。

ステップ 2 [Administration] セクションの [Request a Smart Account] リンクをクリックします。

ステップ 3 アカウント承認者を選択するには、次のいずれかを実行します。

- 承認者として自分を選択するには、[Yes, I will be the Approver for the account] オプションをクリックします。
- 承認者として第三者を選択するには、[No, the person specified below will be the Approver for the account] オプションをクリックし、その人物の電子メール ID を指定します。

Note 指定した承認者には、合意する権限が必要です。承認者は第一所有者の役割を務め、アカウント管理者を任命します。

ステップ 4 承認者のタイプに応じて、次の手順の 1 つを実行します。

- 承認者の場合は、次の作業を実行します。
 - a. [Account Name]、[Company/Organization Name]、[Country]、および [State/Province/Region] の情報を入力します。
 - b. (任意) 通常はデフォルトのドメイン ID を使ってください。どうしても変更が必要な場合は、[Edit] をクリックします。
 - c. [Edit Account Identifier] ウィンドウで、有効な [Proposed Domain Identifier] および [Contact Phone Number] を入力して [OK] をクリックします。

Note デフォルトのドメイン ID は承認者の電子メール ドメインです。ドメイン ID を編集する場合、その変更は手動承認プロセスに進みます。

- d. [Continue] をクリックして、スマートアカウントにリンクされる正しい住所を選択します。
- 承認者でない場合は、次の手順を実行します。
 - a. [Account Name] および承認者へのオプションの [Message] を入力します。
 - b. (任意) 通常はデフォルトのドメイン ID を使ってください。どうしても変更が必要な場合は、[Edit] をクリックします。
 - c. [Edit Account Identifier] ウィンドウで、有効な [Proposed Domain Identifier] を入力して、[OK] をクリックします。
- Note** デフォルトのドメイン ID は承認者の電子メール ドメインです。ドメイン ID を編集する場合、その変更は手動承認プロセスに進みます。
- d. [Continue] をクリックします。
 - e. 送信される電子メールの手順に従って、要求を完了します。
-

スマートアカウントへのユーザの追加

スマートアカウントユーザ管理は、[Cisco Software Central](#) の [Administration] セクションで使用できます。

ステップ 1 <http://software.cisco.com> に移動して、アカウントにログインします。

ステップ 2 [Administration] セクションの [Manage Smart Account] リンクをクリックします。

ステップ 3 [Users] タブをクリックします。

ステップ 4 [New User] をクリックします。

ステップ 5 [New User] セクションに適切な情報を入力します。

(スマートアカウント全体または特定のバーチャルアカウントを管理するためのロールを定義します。)

ステップ 6 [Continue] をクリックします。

GUI を介したスマートライセンスへの従来のライセンスの変換

製品アクティベーションキー (PAK) に関連付けられた従来のライセンスをスマートライセンスに変換できます。License Registration Portal で [PAKs/Tokens] タブをクリックして従来のライセンスにアクセスし、このセクションで提供される情報を使用して PAK をスマートライセンスに変換します。

ステップ 1 <http://software.cisco.com> に移動して、アカウントにログインします。

ステップ 2 [License] セクションの [Traditional Licensing] リンクをクリックします。
LRP ウィンドウにリダイレクトされます。

ステップ 3 [Manage] で [PAKs/Tokens] タブをクリックします (まだ選択されていない場合)。

ステップ 4 [PAK/Token ID] チェックボックスをクリックします。

ステップ 5 [Actions] ドロップダウンメニューから [Convert to Smart Entitlements] を選択します。

ステップ 6 [Smart Account] ドロップダウンリストから、スマートアカウントを選択します。

(注) 自分に割り当てられているスマートアカウントのみ表示できます。

ステップ 7 [Virtual Account] ドロップダウンリストから、バーチャルアカウントを選択します。

(注) 自分に割り当てられているバーチャルアカウントのみ表示できます。

ステップ 8 [Assign] をクリックします。

選択した PAK がスマートライセンスに変換されます。

CLI を介したスマートライセンスへの従来のライセンスの変換

製品アクティベーションキー (PAK) に関連付けられた従来のライセンスは、CLI を使用してスマートライセンスに変換できます。

始める前に

- スマートソフトウェアライセンスが有効であることを確認します。
- 有効なスマートアカウントがあることを確認してください。
- スマートアカウントに対して有効なユーザー権限があることを確認します。

ステップ 1 switch# license smart conversion start

従来のライセンスからスマートライセンスへの手動変換を開始します。変換はバックグラウンドで行われます。変換が成功するか失敗すると、システムログメッセージがスイッチのコンソールに表示されます。

ステップ 2 (任意) switch# license smart conversion stop

手動変換を停止します。

ステップ 3 (任意) switch# show license status

ライセンスの変換ステータスを表示します。ハイアベイラビリティ (HA) 設定でアクティブデバイスからこのコマンドを実行すると、HA 設定内のすべてのデバイスのステータスが表示されます。

CLI を介したスマートライセンスへの従来のライセンスの変換

次の例は、CLI を使用して従来のライセンスをスマートライセンスに変換する方法を示しています。

```
switch# license smart conversion start
```

```
Smart License Conversion process is in progress. Use the 'show license status' command to check the progress and result.
```

次の例は、CLI を使用した従来のライセンスからスマートライセンスへの変換を停止する方法を示しています。

次に、スタンドアロンデバイスのライセンス変換のステータスの例を示します。

```
switch# license smart conversion stop
stop manual conversion failed:
Some Smart Licensing Conversion jobs stopped successfully.
```

次に、スタンドアロンデバイスのライン変換のステータスの例を示します。

```
switch# show license status

Smart Licensing is ENABLED.
Registration:
Status: REGISTERED
Smart Account: Big-U University
Virtual Account: Physics
Export-Controlled Functionality: Not Allowed
Initial Registration: SUCCEEDED on Feb 24 23:30:12 2014 PST
Last Renewal Attempt: SUCCEEDED on Feb 24 23:30:12 2014 PST
Next Renewal Attempt: Aug 24 23:30:12 2014 PST
Registration Expires: Feb 24 23:30:12 2015 PST

!The following show output is applicable from Cisco NX-OS Release 8.2(1) onwards!
Smart License Conversion:
Automatic Conversion Enabled: False
Status: SUCCEEDED on Jan 1 00:00:00 1970 UTC

License Authorization:
Status: AUTHORIZED on Aug 31 17:04:56 2017 UTC
Last Communication Attempt: SUCCEEDED on Aug 31 17:04:56 2017 UTC
Next Communication Attempt: Sep 30 17:04:56 2017 UTC
Communication Deadline: Nov 29 16:58:31 2017 UTC
```

スマートソフトウェアライセンスの設定

DNS クライアントの設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# ip domain-lookup	DNS ベースのアドレス変換をイネーブにします。
ステップ 3	switch(config)# ip domain-name name [use-vrf vrf-name]	Cisco NX-OS が非修飾ホスト名を解決するために使用するデフォルトのドメイン名を定義します。また、このドメイン名を設定した Virtual Routing and Forwarding (VRF) でこのドメイン名を解決できない場合は、Cisco NX-OS がこのドメイン名を解決するために使用する VRF を定義することもできます。

HTTP を使用したメッセージ送信のための VRF の設定

	コマンドまたはアクション	目的
		Cisco NX-OS は、ドメイン名ルックアップを開始する前に、完全なドメイン名を含まないあらゆるホスト名にデフォルトのドメイン名を付加します。
ステップ 4	switch(config)# ip name-server <i>address1</i> [<i>address2...</i> <i>address6</i>] [use-vrf <i>vrf-name</i>]	最大 6 台のネームサーバを定義します。使用可能なアドレスは、IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスです。 このネームサーバを設定した VRF でこのネームサーバに到達できない場合は、任意で、Cisco NX-OS がこのネームサーバに到達するために使用する VRF を定義することもできます。
ステップ 5	switch(config)# vrf context <i>vrf-name</i>	VRF を作成し、VRF コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 6	switch(config-vrf)# ip domain-name <i>name</i> [use-vrf <i>vrf-name</i>]	Cisco NX-OS が非修飾ホスト名を完成させるために使用するデフォルトのドメイン名を定義します。このドメイン名を設定した VRF でこのドメイン名を解決できない場合は、任意で、Cisco NX-OS がこのドメイン名を解決するために使用する VRF を定義することもできます。 Cisco NX-OS は、ドメイン名ルックアップを開始する前に、完全なドメイン名を含まないあらゆるホスト名にデフォルトのドメイン名を付加します。
ステップ 7	switch(config-vrf)# ip name-server <i>address1</i> [<i>address2...</i> <i>address6</i>] [use-vrf <i>vrf-name</i>]	最大 6 台のネームサーバを定義します。使用可能なアドレスは、IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスです。 また、このネームサーバを設定した VRF でこのネームサーバに到達できない場合は、Cisco NX-OS がこのネームサーバに到達するために使用する VRF を定義することもできます。

HTTP を使用したメッセージ送信のための VRF の設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	switch(config)# callhome	Call Home コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	switch(config-callhome)# transport http use-vrf vrf-name	HTTP で電子メールおよび他の Smart Call Home メッセージを送信するための VRF を設定します。

スマートソフトウェアライセンスのイネーブル化

ステップ 1 switch# **configure terminal**。

グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 2 次のコマンドのいずれかを使用して、スマートソフトウェアライセンスを有効にします。

- switch(config)# **license smart enable**
- switch(config)# **feature license smart**

スマートソフトウェアライセンスを有効にします。

スマートソフトウェアライセンスのディセーブル化

ステップ 1 switch# **configure terminal**。

グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 2 次のコマンドのいずれかを使用して、スマートソフトウェアライセンスを無効にします。

- switch(config)# **no license smart enable**
- switch(config)# **no feature license smart**

スマートソフトウェアライセンスを無効にします。

デバイスの登録

始める前に

- スマートソフトウェアライセンスが有効であることを確認します。
- スマートアカウントへのデバイスの登録に使用するトークンがあることを確認します。

```
switch# license smart register idtoken token [force]
```

トークンを使用してスマート アカウントにデバイスを登録します。

デバイス登録の更新

```
switch# license smart renew ID
```

デバイスの登録を更新します。

デバイス認証の更新

```
switch# license smart renew auth
```

デバイス認証を更新します。

デバイスの登録解除

```
switch# license smart deregister
```

デバイスを登録解除します。

スマート ソフトウェア ライセンシング用の Smart Call Home の設定

Smart Call Home プロファイルの表示

```
switch# show callhome smart-licensing
```


Smart Call Home プロファイルが表示されます。

Smart Call Home のデータのプライバシーの有効化

ステップ 1 switch# **configure terminal**

グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 2 switch(config)# **callhome**

Call Home コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 3 switch(config-callhome)# **data-privacy hostname**

Call Home のデータのプライバシーを有効にします。

スマートソフトウェアライセンスの確認

次のコマンドを使用して、スマートソフトウェアライセンスを確認します。

コマンド	目的
show license all	すべてのスマートライセンス エージェント情報を表示します。
show license status	スマートライセンス エージェントのステータスを表示します。
show license summary	スマートライセンス エージェントのステータスの概要を表示します。
show license tech support	トラブルシューティングのための情報を収集します。
show license udi	デバイス UDI 情報を表示します。
show license usage	ライセンスの使用状況テーブル情報を表示します。
show tech-support license	ライセンス テクニカル サポート情報を表示します。

スマートソフトウェアライセンスの設定の例

この例では、シスコ ポータルでデバイスを登録して、スマートソフトウェアライセンスを有効にする方法を示します。



- (注) デバイスの登録中に問題を避けるため、デバイスを登録する前に、ネームサーバが到達可能であるかどうか必ず確認します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# ip domain-lookup
switch(config)# ip domain-name cisco.com
switch(config)# ip name-server 171.70.168.183 use-vrf management
switch(config)# vrf context management
switch(config-vrf)# ip domain-name cisco.com
switch(config-vrf)# ip name-server 171.70.168.183
switch(config-vrf)# exit
switch(config)# callhome
switch(config-callhome)# transport http use-vrf management
switch(config-callhome)# exit
switch(config)# feature license smart
```

以下の例は、スマートソフトウェアライセンスを無効化する方法を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no feature license smart
```

以下の例は、デバイスを登録する方法を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# license smart register idtoken sampletokenID
register status: Registration process is in progress. Use the 'show license status'
command to check the progress and result
```

以下の例は、デバイスを登録解除する方法を示します。

```
switch# license smart deregister
```

次に、smart call home 設定の一部として CSSM サテライトの URL を提供する例を示します。

```
switch(config-callhome)# destination-profile CiscoTAC-1 ?
alert-group Add alert group
email-addr Add email addr
http Add http or https url
transport-method Callhome message sending transport-method
destination-profile CiscoTAC-1 http https://10.83.111.51/Transportgateway/
services/DeviceRequestHandler*
```



- (注) *IP アドレスは次の形式にする必要があります : https://<CSSM satellite IP>/Transportgateway/services/DeviceRequestHandler

スマートソフトウェアライセンスの確認の例

以下の例は、スマートソフトウェアライセンスを確認する方法を示します。

```
switch# show license status

Smart Licensing is ENABLED
```

```
Registration:
  Status: REGISTERED
  Smart Account: Cisco Systems, Inc.
  Virtual Account: NexusSmartLicensing_Test
  Export-Controlled Functionality: Allowed
  Initial Registration: SUCCEEDED on Dec 14 10:43:33 2016 UTC
  Last Renewal Attempt: None
  Next Renewal Attempt: Jun 12 10:43:32 2017 UTC
  Registration Expires: Dec 14 08:07:20 2017 UTC

License Authorization:
  Status: AUTHORIZED on Dec 14 10:43:48 2016 UTC

  Last Communication Attempt: SUCCEEDED on Dec 14 10:43:48 2016 UTC
  Next Communication Attempt: Jan 13 10:43:47 2017 UTC
  Communication Deadline: Dec 14 08:07:20 2017 UTC

switch# show callhome smart-licensing

Current smart-licensing transport settings:
Smart-license messages: enabled
Profile: CiscoTAC-1 (status: ACTIVE)

switch# show license summary

Smart Licensing is ENABLED

Registration:
  Status: REGISTERED
  Smart Account: Cisco Systems, Inc.
  Virtual Account: NexusSmartLicensing_Test
  Export-Controlled Functionality: Allowed

License Authorization:
  Status: AUTHORIZED on Dec 14 10:43:48 2016 UTC

  Last Communication Attempt: SUCCEEDED
  Next Communication Attempt: Jan 13 10:43:47 2017 UTC
  Communication Deadline: Dec 14 08:07:20 2017 UTC

switch# show license all

Smart Licensing Status
=====
Smart Licensing is ENABLED

Registration:
  Status: REGISTERED
  Smart Account: Cisco Systems, Inc.
  Virtual Account: NexusSmartLicensing_Test
  Export-Controlled Functionality: Allowed
  Initial Registration: SUCCEEDED on Dec 14 10:43:33 2016 UTC
  Last Renewal Attempt: None
  Next Renewal Attempt: Jun 12 10:43:32 2017 UTC
  Registration Expires: Dec 14 08:07:20 2017 UTC

License Authorization:
  Status: AUTHORIZED
  Last Communication Attempt: SUCCEEDED on Dec 14 10:43:48 2016 UTC
  Next Communication Attempt: Jan 13 10:43:48 2017 UTC
  Communication Deadline: Dec 14 08:07:21 2017 UTC
```

```

License Usage
=====

Product Information
=====
UDI: SN:JAF1428DTAH

Agent Version
=====
Smart Agent for Licensing: 1.6.6_rel/88

switch# show license tech support

Smart Licensing Status
=====
Smart Licensing is ENABLED

Registration:
  Status: REGISTERED
  Smart Account: Cisco Systems, Inc.
  Virtual Account: NexusSmartLicensing_Test
  Export-Controlled Functionality: Allowed
  Initial Registration: SUCCEEDED on Dec 14 10:43:33 2016 UTC
  Last Renewal Attempt: None
  Next Renewal Attempt: Jun 12 10:43:32 2017 UTC
  Registration Expires: Dec 14 08:07:20 2017 UTC

License Authorization:
  Status: AUTHORIZED on Dec 14 10:43:48 2016 UTC

  Last Communication Attempt: SUCCEEDED on Dec 14 10:43:48 2016 UTC
  Next Communication Attempt: Jan 13 10:43:47 2017 UTC
  Communication Deadline: Dec 14 08:07:20 2017 UTC

Evaluation Period:
  Evaluation Mode: Not In Use
  Evaluation Period Remaining: 89 days, 23 hours, 59 minutes, 7 seconds

License Usage
=====

Product Information
=====
UDI: SN:JAF1428DTAH

Agent Version
=====
Smart Agent for Licensing: 1.6.6_rel/88

Upcoming Scheduled Jobs
=====
Current time: Dec 15 08:44:44 2016 UTC
IdCert Expiration Warning: Oct 15 08:07:20 2017 UTC (303 days, 23 hours, 22 minutes, 36 seconds remaining)
Daily: Dec 15 10:26:50 2016 UTC (1 hours, 42 minutes, 6 seconds remaining)
Certificate Renewal: Jun 12 10:43:32 2017 UTC (179 days, 1 hours, 58 minutes, 48 seconds remaining)
Reservation configuration mismatch between nodes in HA mode: Not Available
Certificate Expiration Check: Dec 14 08:07:20 2017 UTC (363 days, 23 hours, 22 minutes, 36 seconds remaining)
Authorization Renewal: Jan 13 10:43:47 2017 UTC (29 days, 1 hours, 59 minutes, 3 seconds remaining)
Authorization Expiration Check: Dec 14 08:07:20 2017 UTC (363 days, 23 hours, 22 minutes, 36 seconds remaining)

```

```
Init Flag Check: Not Available
Register Period Expiration Check: Not Available
Ack Expiration Check: Not Available

License Certificates
=====
Production Cert: True
PIID: 27dc6a49-9745-4c7c-86de-d1dbd31e58ac

Licensing Certificated:

  Id certificate Info:
    Start Date: Dec 14 08:07:22 2016 UTC
    Expiry Date: Dec 14 08:07:22 2017 UTC
    Version Number: 3
    Serial Number: 727430
    Common Name: 9c172927d1806d05694c1f434b40ec0fbef93abb::2

  Signing certificate Info:
    Start Date: Sep 11 19:05:34 2013 UTC
    Expiry Date: Dec  7 07:00:15 2069 UTC
    Version Number: 3
    Serial Number: 3
    Common Name: MMI Signer

  Sub CA Info:
    Start Date: Sep 11 19:06:30 2013 UTC
    Expiry Date: Dec  7 07:00:15 2069 UTC
    Version Number: 3
    Serial Number: 2
    Common Name: Smart Licensing CA

  Root Cert Info:
    Start Date: May 30 19:48:47 2013 UTC
    Expiry Date: Dec  7 07:00:15 2069 UTC
    Version Number: 3
    Serial Number: 1
    Common Name: Cisco Licensing Root CA

HA Info
=====
RP Role: Active
Chassis Role: Active
Behavior Role: Active
RMF: True
CF: True
CF State: Stateless

Other Info
=====
Software ID: regid.2015-09.com.cisco.Nexus_7000,1.0_6e2b6ed8-fe9b-48e0-a71f-74ea
flbcc991
Agent State: authorized
TS enable: True
Transport: Callhome
Locale: C
Debug flags: 0x7
Privacy Send Hostname: True
Privacy Send IP: True
Build type:: Production
sizeof(char)  : 1
sizeof(int)   : 4
sizeof(long)  : 4
sizeof(char *) : 4
```

```

sizeof(time_t): 4
sizeof(size_t): 4
Endian: Little
Write Erase Occurred: False
XOS version: 0.11.0.0
Reservation enable: False
Reservation in progress: False
Reservation type: None
Reservation request code: <empty>
Reservation authorization code: <empty>
Reservation return code: <empty>
Config Persist Received: True
Message Version: 1.1

```

show tech-support license コマンドを使用して、デバイスにインストールされているライセンスに関する情報を表示できます。

```

switch# show license udi

UDI: SN:JAF1428DTAH

switch# show license usage

License Authorization:
  Status: AUTHORIZED on Dec 15 08:45:50 2016 UTC

(LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG):
  Description: LAN license for Nexus 7000,7700 Platforms
  Count: 1
  Version: 1.0
  Status: AUTHORIZED

switch# show running-config callhome

!Time: Thu Dec 15 08:55:26 2016

version 8.0(1)
callhome
  email-contact sch-smart-licensing@cisco.com
  destination-profile CiscoTAC-1 transport-method http
  destination-profile CiscoTAC-1 http https://tools.cisco.com/its/service/oddce/
  services/DDCEService
  transport http use-vrf management
  enable

```

スマートソフトウェアライセンスの使用例

シナリオ 1

1. Cisco Nexus 7000 シリーズスイッチ（ライセンス付き）を構成し、出荷前にハードウェアに事前インストールされる Cisco NX-OS のリリースを選択します。



(注) ハードウェアに事前インストールされているライセンスをスマートライセンスに変換するには、[License Registration Portal](#) に移動して、スマートアカウントの設定を行ってからライセンスを変換します。

2. [Manage] セクションで [Devices] タブをクリックします。対応するデバイス ID をクリックして、[Device ID] ドロップダウンリストから [Convert to Smart Entitlements] を選択します。これにより、スイッチに事前インストールされているすべてのライセンスがスマートライセンスに変換されます。このタスクは、スマートライセンスに変換するスイッチごとに実行する必要があります。
3. サービスにより、変換を処理する前にスイッチ上のライセンスの Stock Keeping Units (SKU) がスマートライセンスにマッピングされているかどうかを検証されます。
4. スイッチ上のスマートモードを有効にし、スマートライセンスを使用します。

シナリオ 2

1. Cisco Nexus 7000 シリーズスイッチ（ライセンス付き）を構成し、出荷前にハードウェアに事前インストールされる Cisco NX-OS のリリースを選択します。
2. スイッチを Cisco NX-OS Release 8.0(1) にアップグレードします。



(注) ハードウェアに事前インストールされているライセンスをスマートライセンスに変換するには、[License Registration Portal](#) に移動して、スマートアカウントの設定を行ってから変換を実行します。

3. [Manage] セクションで [Devices] タブをクリックします。対応するデバイス ID をクリックして、[Device ID] ドロップダウンリストから [Convert to Smart Entitlements] を選択します。これにより、スイッチに事前インストールされているすべてのライセンスがスマートライセンスに変換されます。このタスクは、スマートライセンスに変換するスイッチごとに実行する必要があります。
4. サービスにより、変換を処理する前にスイッチ上のライセンスの SKU がスマートライセンスにマッピングされているかどうかを検証されます。
5. スイッチ上のスマートモードを有効にし、スマートライセンスを使用します。

シナリオ 3

1. 予備のライセンス SKU を発注し、Cisco Commerce Workspace (CCW) でスマートアカウントを注文に関連付けないことにします。



(注) スマートソフトウェアライセンスを使用する前に、スマートアカウントを設定する必要があります。

2. 提供された PAK を取得して、スマートアカウントにロードします。
3. License Registration Portal サービスは、予備のライセンス SKU がスマートライセンスにマッピングされているかどうかを検証します。
4. Smart Software Manager (SSM) により、ご使用のスマートアカウントに従来のライセンスまたはスマートライセンスとして履行できるライセンスがあることが電子メールで通知されます。
5. SSM で PAK をスマートライセンスとして指定します。
6. Cisco NX-OS Release 8.0(1) がスイッチ上にインストールされていることを確認し、スマートモードを有効にして、スマートライセンスを使用して開始します。

シナリオ 4

1. 予備のライセンス SKU を発注し、CCW でスマートアカウントを注文に割り当てます。
2. 既存の License Registration Portal サービスは PAK を LRP スマートアカウントに自動デポジットします。
3. License Registration Portal サービスは、予備のライセンス SKU がスマートライセンスにマッピングされているかどうかを検証します。予備のライセンス SKU がスマートライセンスにマッピングされている場合、サービスは CSSM に確認通知を送信します。
4. Smart Software Manager により、ご使用のスマートアカウントに従来のライセンスまたはスマートライセンスとして履行できるライセンスがあることが電子メールで通知されます。
5. SSM で PAK をスマートソフトウェアライセンスとして指定します。
6. Cisco NX-OS Release 8.0(1) がスイッチにインストールされていることを確認し、スマートモードを有効にしてから、スマートライセンスを使用して開始します。

スマートソフトウェアライセンスのその他の参考資料

表 1: シスコのテクニカルサポート

説明	リンク

<p>シスコ サポートの Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的な問題のトラブルシューティングや解決に役立てていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Product Alert Tool (Field Notices からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html
<p>License Registration Port (LRP) の資料</p>	https://www.cisco.com/web/fw/tools/swift/xui/html/help.html

スマートソフトウェアライセンスの機能の履歴

機能名	リリース	機能情報
Satellite による Smart Software ライセンシング	8.4(2)	この機能が導入されました。
Smart License への従来のライセンスの変換 : CLI バージョン	8.2(1)	この機能が導入されました。
サブスクリプションベースのライセンス	8.2(1)	この機能が導入されました。

機能名	リリース	機能情報
スマートソフトウェアライセンス	8.0(1)	<p>スマートソフトウェアライセンスは、シスコソフトウェアを簡素化し、ネットワーク全体でシスコソフトウェアがどのように使われているかについて理解できるように支援するための標準化されたライセンスプラットフォームです。スマートソフトウェアライセンスは、Cisco Nexus 7000 シリーズスイッチの次世代ライセンスプラットフォームです。</p> <p>次のコマンドがこの機能で導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • feature license smart • license smart deregister • license smart enable • license smart register • license smart renew • show license all • show license status • show license summary • show license tech support • show license udi • show license usage

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。